

第162回生存圏シンポジウム 「木の文化と科学 X」

*The 162nd Symposium on Sustainable Humanosphere
Wood Culture and Science X*

テーマ：いにしえに学ぶ

Learn from the Past, live in the Present and lead in the Future

科学技術が日々進歩し複雑化する社会に生きる我々にとって「過去」は重要でしょうか。むしろ氾濫する情報の中から本質を見抜く力が必要な時代だからこそ、過去の事象は直面する問題を読み解く鍵とはならないでしょうか。第10回を迎える木の文化と科学では、材化石や遺構を初めとする出土材の調査から明らかとなる植生や我々の用材観、またそのような科学的な調査を可能とする解析や保存技術などに関して講演いただきます。太古から現代に至る「森と木と人」のつながりを知ること、よりよい共存・共生システムについて手掛かりが得られるかもしれません。

開会の辞 *Opening*

リサーチ最前線

Research frontiers

14:00-14:30

村上 由美子氏（総合地球環境学研究所）

Yumiko Murakami (Research Institute for Humanity and Nature)

「遺跡出土木材からみたアカガシ亜属の利用」

Use of Cyclobalanopsis as seen in excavated wood species from relics

14:30-15:00

遠藤 利恵氏（東洋羽毛工業株式会社・生存圏研究所）

Rie Endo (Toyo-Feather Co.Ltd. & RISH, Kyoto University)

「羽毛で遺跡出土木材を守る」

Conservation of waterlogged wood by feather keratin

休憩

特別講演

Special lecture

15:20-16:50

鈴木 三男氏（東北大学植物園）

Mitsuo Suzuki (Tohoku University, Botanical Garden)

「日本の遺跡出土木材研究の70年」

70 years of progress in wood science excavated from relics in Japan

閉会の辞 *Closing*

2011年2月5日（土） 午後2時より5時

Saturday, February 5th, 2011

京都大学宇治キャンパス 黄檗プラザ きはだホール

Kyoto University, Uji Campus, Obaku plaza, Kihada hall

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/access.html>

京阪宇治線「黄檗」駅下車 徒歩 6分 / JR 奈良線「黄檗」駅下車 徒歩 5分

参加無料
申込不要

問い合わせ先

京都大学生存圏研究所 バイオマス形態情報分野

0774-38-3634

lbmi-sympo@rishi.kyoto-u.ac.jp